

2017年10月18日

各位

旭化成株式会社

クウェート海水淡水化プラント向け「マイクロザ[™]」採用決定について
～過去最大水量の水処理膜を受注～

旭化成株式会社（本社：東京千代田区、社長：小堀 秀毅）は、水処理用中空糸ろ過膜「マイクロザ[™]」が、クウェート市近郊で建設されている逆浸透膜方式*の海水淡水化プラント「ドーハ フェーズ1」向けに、前処理用膜として採用されましたので、お知らせいたします。この海水淡水化プラントは、韓国の手前プラントメーカーである Doosan Heavy Industries and Construction が建設しています。

当社が納入する水処理膜の規模は日量 61 万トンとなる予定で、当社において過去最大規模の受注となります。

1. 採用の経緯

昨今クウェートを含め中東地域では慢性的な水不足への対応のため、数多くの逆浸透膜方式の海水淡水化プラントの建設が計画されており、その前処理として「マイクロザ[™]」を含む MF および UF 膜が採用されています。

当社の「マイクロザ[™]」は、世界各地の浄水・下水・再生水の分野で幅広く採用されており、また、中東での逆浸透膜方式の海水淡水化プラント向けの前処理膜としての実績も広がりつつあり、その優れたパフォーマンスと高い信頼性が認められ、今回の採用に至りました。今後も需要が旺盛な中東エリアに対して積極的な展開を図ってまいります。

2. 採用プラントの概要

- | | |
|---------------|---|
| (1) プロジェクト名 | : ドーハ フェーズ1 |
| (2) 場所 | : クウェート国 クウェート市 ドーハ |
| (3) 処理能力（当社膜） | : 610,000m ³ /日 |
| (4) 事業者 | : Ministry of Electricity and Water, Kuwait |
| (5) 建設者 | : Doosan Heavy Industries and Construction |

3. 「マイクロザ[™]」について

「マイクロザ[™]」は物理的強度や耐薬品性に優れるポリフッ化ビニリデン（PVDF）製中空糸膜で、PVDF 膜の中でも独自の製膜技術により高い過性能と長寿命化を実現しています。当社は水処理膜およびシステムのトップクラスのサプライヤーであり、世界 1,600 ヵ所所以上のプラントで使用されています。膜式上水道で世界最大市場であるアメリカにおいてはシェア首位であり、

さらに水不足と水質向上のニーズが高い中国、韓国、シンガポール、タイ、インドネシア、中東諸国での採用が拡大しています。当社は今後も水資源に関わるさまざまな課題解決を目指し、世界の水環境問題に貢献していきます。

<用語説明>

*逆浸透膜方式：海水に圧力をかけ、特殊な膜を透過させて塩分を除去し淡水を得る方式。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

広報室 TEL 03-3296-3008